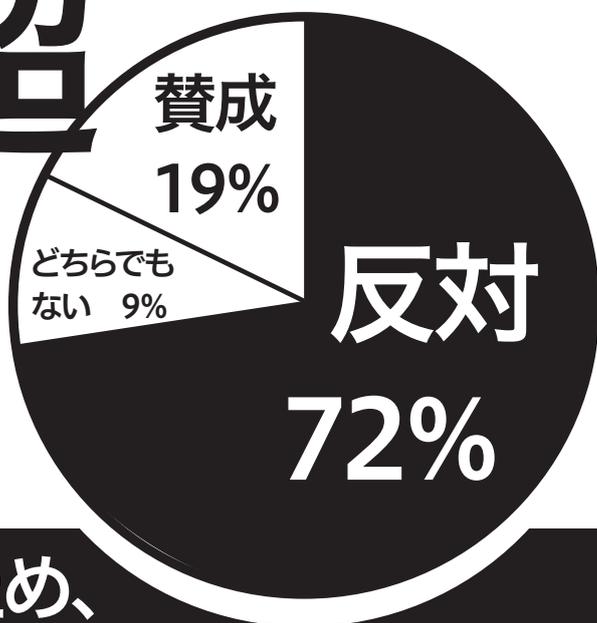


沖縄 県民 投票

辺野古反対

7割超

沖縄県名護市辺野古の米軍新基地建設に伴う埋め立ての賛否を問う県民投票が2月24日、投開票されました。政府が強行する辺野古埋め立てについて「賛成」「反対」「どちらでもない」の3択で民意が問われ、「埋め立てに反対」が投票者の7割を超え圧倒的多数を占めました。投票率は52%を超えました。



県民の民意を重く受け止め、 辺野古埋め立てを中止せよ

共産党・志位委員長が談話

一、沖縄の県民投票の結果は、辺野古埋め立て反対の明確な民意を示すものとなりました。

この結果は、沖縄の民主主義、地方自治の勝利であり、沖縄県民の歴史的な勝利です。多くの困難を乗り越えて県民投票を成功させた沖縄県民のみなさんに、心からの敬意を表します。

一、安倍政権に対して、県民投票に示された沖縄

県民の民意を重く受け止め、辺野古新基地建設のための埋め立てをただちに中止することを、強く求めます。

普天間基地は、「辺野古移設」という「条件付き」では、永久に返ってきません。無条件での撤去を求め、米国と交渉することを、強く求めます。

沖縄の新基地建設は中止を



参議院議員(東京選挙区選出)

きら・よしこ

吉良よし子

東京
民報

ご意見・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590

2019年2・3月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。

発行/東京民報社(港区芝1-4-9 平和会館5階) 1965年11月12日第三種郵便物認可

日本共産党